

鳥取県では**気象災害に強く、価格を抑えたパイプハウス**を推進します！



①ハウス栽培は、出荷時期を早めるだけでなく、収量が増えたり、年中作付けが可能となるなど営農上のメリットがあります。



②一方、近年、ハウス価格は高騰しており、ハウス更新や規模拡大に踏み切れないという声が寄せられています。

県内ハウス価格の推移（10aあたり）

	H13	H23	H25	H26
耐雪型	450万円		955万円	
通常型	290万円	470万円		620万円

※生産振興課調べ。補助事業で導入されたハウスの価格を平均したものであり同じ仕様の比較ではありません。

③そこで、従来と同等の強度を有し、建設費が安い「**鳥取型低コストハウス**」の基本設計を決定し、県内にモデルハウスを設置しています。

（耐雪型：八頭町、米子市、日南町、通常型：北栄町）

鳥取型低コストハウスとは？

近年開発された従来材よりも強い**高強度鋼管**（価格は従来材と同程度）を使用し、**パイプピッチ幅**を従来幅の1.4倍の**70cm**に広げることで、**コストを大幅に削減したハウス**です。（耐雪型、通常型）

①ハりはT字型からX字型に変更、アンカーはラセン式と打込式を併用して強度アップ。（耐雪型）

②屋根は20cm高くし角度をつけて雪を落ちやすく改良。（耐雪型）

③ツマ部は従来の丸パイプから角材のシンプルな工法に変更し強度を上げながら工事費を削減。（耐雪型）

県では、ハウスを建設する場合は、業者から相見積りを取るなどして**競争を働かせて価格を抑えること**や、**生産者自らが施工することでコストダウン**を図る方策などを、積極的に提案します。

県では、学識経験者、JA、生産者代表、研究機関などと検討を重ね、強度測定を行った上で、低コストハウスの開発を進めました。

①鳥取県産業技術センター、鳥取県林業試験場と共同で、高強度鋼管の強さを確認しました。



高強度鋼管は、従来材より**1.3～1.4倍程度***強いことが判明。
*パイプ径31.8mm、間口6m、高さ約3m

②鳥取県産業技術センターと共同で、低コストハウスの強さをコンピューター上で確認しました。



低コストハウスの**強度は、従来のハウスと同等以上**であることを確認。

従来ハウスと低コストハウスの安全率 ※数字が大きいほど強い

	従来耐雪型	低コスト耐雪型	従来通常型	低コスト通常型
台風（35m/s）	0.07	0.16	0.09	0.10
上の積雪（50cm）	0.19	0.15	0.05	0.06
横の雪圧（1トン加力）	0.44	0.45	0.21	0.24

低コストハウス基本設計 間口6m×奥行50m（3a）



	耐雪型ハウス(県東部)		通常型ハウス(大栄など)	
	従来	低コスト	従来	低コスト
鋼管の種類	通常	高強度	通常	高強度
曲管間隔	45～50cm	70cm	50cm	70cm
母屋直管	あり	あり	なし	なし
補強管	あり	あり	なし	なし
アンカー	ラセン	SS、ラセン	SS	SS
ハリ補強	あり(Tタイバー)	あり(Xタイバー)	なし	なし
妻柱パイプ	丸	角	丸	丸
m ² 設計価格	9,550円(100)	7,070円(74)	6,560円(100)	5,710円(87)
m ² 相見積価格		5,625円(59)		4,650円(71)
6×50m設計価格	286万円	212万円	196万円	171万円
6×50m相見積価格		169万円		140万円

- ※直管(天、肩、筋交い)はいずれのハウスにも設置されます。
- ※価格(税別)には資材費、工事費、諸経費等を含みます(H25年度価格)。
- ※低コストハウスの価格は、資材費の削減や、相見積を取るなどして競争を働かせることで、従来より30～40%のコストダウンとなります。
- ※通常型とは、雪の少ない中部地区(大栄など)で普及しているハリ補強や母屋直管、補強管のない仕様です。



自らが施工することで、更に20%程度の減額が可能。
補助事業(従来1/2補助)も計画的に活用し低コストの施設園芸を実現!

年間を通じて、どのような品目を作れば経営的に成り立つのかのモデルを提案しながら、低コストハウスの普及を図ります。

鳥取型低コストハウスQ&A



問 低コストハウスって、どれくらい安くなるの？

答 従来と比較して、資材費の削減や、相見積りを取るなど競争を働かせることで、従来より最大で通常型で30%、耐雪型で40%程度のコストダウンとなります。

問 いつ頃から現場に普及するの？



答 現場での耐雪試験や、耐風試験で実用性を確認しながら、平成27年から現場普及できるよう推進します。現在、県下に4カ所のモデルハウスを設置しています。

問 鳥取型低コストハウスなら、雪かきや台風対策は不要ですか？



答 通常、パイプハウスでは、台風の前には風対策、大雪時には雪かきをしてもらうことが必要で、低コストハウスも、従来のハウスと同様の事前対策を行ってください。

問 補助があれば導入しやすいのになあ

答 単県事業等を使って、パイプハウスを導入することは可能です。(市町村の協力があれば1/2程度の自己負担。)ただ、必要ない資材まで購入しないよう、自ら考えて補助事業を活用することが大切です。

低コスト園芸のポイントは、ハウスの高度利用です。

一年を通して何を作付けするか、どう販売するかを十分に計画しましょう！！



(問合先)鳥取県庁農林水産部

農業振興戦略監生産振興課園芸振興担当

電話：0857-26-7272

ファクシミリ：0857-26-7294